

令和7年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【一般】

文化・社会学専攻
外国語科目試験問題

古典日本語【歴史学コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和7年2月15日実施

令和7年度 総合文化研究科 一般入学試験・2月入試 外国語（古典日本語）
（文化・社会学専攻 歴史学コース）

文化・社会学専攻 歴史コース(日本古代史特論)古典日本語試験問題

【問題】次の史料の全文を、【1】書き下し文(訓読分)にし、【2】現代の日本語に翻訳せよ。

「注意事項」①異体字は可能な限り正字に直すこと。②旧字は常用漢字に直してもよいし、直さなくても良い。③原文の句点は全て「。」であるが、「、」と「。」を区別して書くこと。

④仮名は平仮名(ひらがな)を用いること。旧仮名遣いにしなくてもよい。

※あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回実施を可能とするため史料文を非公開とする。

【出題意図】

研究に必要な水準の古典日本語の読解力があるか。